



2026 年 7 月 23 日
株式会社イクシス

BIM/CIM バーチャル体感システム「GENBA-XRossover」を提供開始
～遠隔地からの設計レビューや合意形成を支援し、プロジェクトの意思決定を高度化～

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO：狩野高志）は、このたび、BIM/CIM データや点群データなどの 3 次元データを VR 空間上で実寸大表示し、遠隔地にいる複数の関係者が同時にレビューや協議を行える BIM/CIM バーチャル体感システム「GENBA-XRossover（クロスオーバー）」（以下、「本サービス」という）をリリースしたことをお知らせします。

【GENBA-XRossover 特設サイト】

<https://www.ixs.co.jp/genba-xrossover>



■ 本サービスの概要

本サービスは、BIM/CIM データ、点群データ、その他の 3 次元データを VR ゴーグル上に表示し、関係者が実際にその空間の中に入り込むような感覚でレビューや協議を行うことができる XR ソリューションです。

関係者が同一のバーチャル空間を共有しながら、設計データや現況データを実寸大で確認・検討できるため、合意形成や意思決定の迅速化と高度化を支援します。



■ 開発背景

近年、建設・インフラ分野では BIM/CIM の活用が進み、設計・施工段階において多くの 3 次元データが作成・利用されています。一方で、設計データの確認は依然として PC モニター上で行われることが多く、空間的な理解や課題発見が難しいという課題がありました。

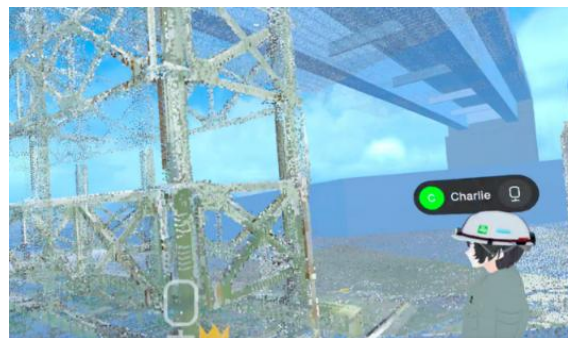
また、発注者、設計者、施工者など複数の関係者による合意形成や意思決定は、現地での打合せや現場確認に依存するケースも多く、移動時間や調整コストがプロジェクトの負担となっています。

イクシスは、これらの課題を解決するため、設計データや現況データを実寸大スケールで共有し、遠隔地からでも臨場感のあるレビューや協議を実現できる XR ソリューション「GENBA-XRrossover」を開発しました。

■ 本サービスの特長

1. 実寸大スケールで空間を体感

BIM/CIM データや点群データを実寸大で表示することで、従来の図面やモニターでは把握しづらかった高さ、距離、見え方、圧迫感などを直感的に確認できます。これにより、設計段階での課題発見や施工前検討の精度向上に貢献します。





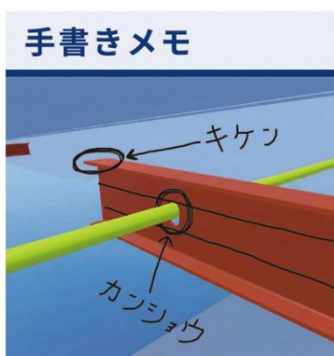
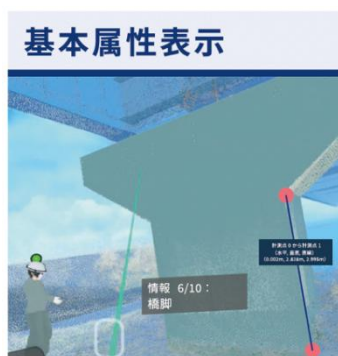
2. 遠隔地から複数人が同時接続

発注者、設計者、施工者など複数の関係者が同じ VR 空間を共有し、遠隔地から同時にレビューや検討を行うことができます。共通の空間認識を持ちながら議論できるため、認識齟齬の低減と合意形成の円滑化を実現します。



3. 意思決定を支援する豊富な機能

基本属性表示（属性表示、距離計測、部材の表示・非表示切替）、空間への手書きメモ、カメラ撮影機能などを備えています。レビュー中に発見した課題や確認事項をその場で共有できるため、より効率的な意思決定を支援します。



4. 現況と設計を統合したデジタルツイン空間

BIM/CIM データと点群データを統合して表示することで、設計と現況の差異を直感的に把握できます。現況確認、設計レビュー、施工計画の検討など、様々な用途で活用が可能です。





■ 想定導入先/案件プロジェクト

- 導入先
 - 建設会社・土木施工会社
 - 鉄道・道路・上下水道などのインフラ管理事業者
 - 電力・エネルギー関連の事業者
 - 建設コンサルタント
- 案件プロジェクト
 - BIM/CIM を活用する設計・施工プロジェクト
 - 国土交通省および自治体発注工事

■ 導入効果

1. 意思決定・合意形成の高度化

関係者全員が同じ空間と視点を共有することで認識齟齬を低減し、設計・施工における合意形成の迅速化と意思決定精度の向上に貢献します。

2. プロジェクト全体の生産性向上

現況、設計、関連情報を一元的に可視化することで、調整業務やレビュー工数を削減し、プロジェクト全体の業務効率向上を実現します。

3. 移動時間・コストの削減

遠隔地から高品質なレビューや協議を実施できるため、現地確認や対面会議の回数を削減し、移動に伴う時間的・経済的負担を軽減します。

4. 安全性向上および教育への活用

干渉箇所や危険箇所の事前確認、高難度施工の検証、VR を活用した安全教育や技能伝承などにも活用でき、安全性向上と教育効率化に貢献します。

■ 活用シーン

GENBA-XRossover は、設計段階における干渉確認や施工計画の検討、施工段階における段取り確認、発注者や自治体、住民への説明、施設の保守や改修など、さまざまな場面で活用できます。完成後の構造物や施工後の空間を事前に共有することで、関係者間の理解促進や円滑なコミュニケーションを支援します。



■ 当社の概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボット、AI・XR、3D データ技術を融合したソリューションの社会実装により、社会・産業インフラ業界の社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998 年 6 月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 AIRBIC 内
代表者	代表取締役 CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3D データソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イクシス
神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 かわさき新産業創造センター（AIRBIC）内
Business Development Division
電話：044-589-1500 、メールアドレス：press@ixs.co.jp

以上